

単元		氏名	年組番	問
六年「生活の中の敬語」				

「敬語」とは

(例) (1) わたしの名前は、田中です。  
 (2) 山本先生が、いらっしゃった。  
 (3) 大切なお客様を、お見送りする。

(1)から(3)の——部のように、わたしたちは、聞き手や会話の中に出てくる人などに対して敬意を表すために、必要に応じて丁寧な言葉を使います、これを敬語といいます。

① ていねい語

あまり親しくない人や大勢の人に対して話したり書いたりするときに使います。相手（聞き手や読み手む）に対する敬意を表します。

「です」「ます」「ございます」などのことばを使います。

② 尊敬語

相手や話題になっていいる人を敬う気持ちを表すときに使います。

① 「いらっしゃる」「おっしゃる」などの特別な言葉を使った言い方  
 ② 「おはなしになる」などのような「お(ご)・になる」という言い方  
 ③ 「・れる(られる)」という言い方  
 ④ 「ご卒業」などのように物事を表す言葉に「お」や「ご」を付けた言い方

③ けんじょう語

自分や身内の動作をけんそんな言い方によって、その動作を受ける人への敬意を表すときに使います。

① 「うかがう」「いただく」など、特別な言葉を使った言い方。  
 ② 「お見送りする」などのような「お(ご)・する」という言い方

敬語は、私たちが、相手や話題になっていいる人をどう思っているのかという気持ちや、その場をどうとらえているかという見方も表します。



生活のちょっとした場面でも、相手と場を意識して、適切な敬語が使えるようになります。

単元	氏名	年組番
六年「生活の中の敬語」		
		17問

1 例を参考にして、敬語を  から選び、書きましよう。(同じ番号を二回使ってもかまいません。)

【言葉】

【ていねい語】

【尊敬語】

【けんじよう語】

- |     |     |   |   |   |   |   |   |   |
|-----|-----|---|---|---|---|---|---|---|
| (例) | 言う  | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 |
| (1) | 食べる | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 |
| (2) | 見る  | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 |
| (3) | 行く  | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 |
| (4) | もらう | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 |
| (5) | くれる | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 | 〓 |

- |   |       |   |       |   |        |   |      |
|---|-------|---|-------|---|--------|---|------|
| ① | くださる  | ② | 食べます  | ③ | いらっしゃる | ④ | 見ます  |
| ⑤ | もらいます | ⑥ | くれます  | ⑦ | めいただく  | ⑧ | 行きます |
| ⑨ | 参る    | ⑩ | ご覧になる | ⑪ | 召し上がる  | ⑫ | 拝見する |

2 次の文の 線部の敬語は使い方が間違っています。正しい敬語を) に書きましよう。

- (1) わたしは、初めて、あなたにお会いになるとおもいます。 〓
- (2) お客様も、昼食をいただくとのことでした。 〓
- (3) 母が、そのようにおっしゃっておいりました。(来客への対応) 〓
- (4) 校長先生は、写真を拝見しましたか。 〓

単元	氏名	年組番
六年「生活の中の敬語」		
		4問

○【】のような敬語を使うのがふさわしい場面にあった、適切な表現に文章を書き換えてみましょう。

(1) 【家に来客があったとき】

「あっ。お母さんは、今出かけて。田中さんが来たって、言っておきます。」

(2) 【電話をかけたとき】

「もしもし。同じクラスの山田だけど、ゆうきくんは。」

(3) 【もらった物のお礼を言うとき】

「この間は、りんごをくれて、ありがとうございます。おいしく食べました。」

(4) 【店で店員さんと話すとき】

「カーネーション、三本。おばあちゃんにあげるから、リボンをつけてほしいんだけど。」